



問い合わせ窓口 **048-227-9866**

その他
募金していただいた海外の紙幣や硬貨は
(7ドル83セント/44バーツ25サタン/10ウオン)
**公益財団法人
日本ユニセフ協会様**
へ橋渡しさせていただきました！

昨年7月から17カ所に設置、ご支援をお願いした「しあわせづくり応援募金」は、お陰様で**26,939円**(+外貨)に達しました。法人内公募、厳正な役員審査を経て、選定された**川越ゆめの園**が(右写真)和太鼓を購入させて頂きました。今回は報告として、管理者や部門長のインタビュー対談を敢行！当園の取り組みの一端を紹介、皆様の温かいお気持ち、どうしあわせづくりに寄与したのかレポートします！
※法人ミッションやハッピーネットスタイルの詳細は右のQRコードからチェック！



— まずは管理者の木村所長、今回募金してくれた方々へ簡単に川越ゆめの園の紹介をお願いします。

(木村)川越ゆめの園は、中高生をメイン対象とした放課後等デイサービスです。対象年齢を絞ることで、年齢に即した支援が可能です。また中高生ならではの体重増加等の課題や、社会参加のルール取得を求める声にお応えする為に「**地域に出ていく活動**」を積極的に取り入れています。近隣には菓子屋横丁や蔵造り街等の観光地や、大きな公園もある為「**小江戸初雁の街並**」を感じられる事業所です！

— 管理者として運営管理する上で日頃心掛けていることは？



(木村)学校から疲れて帰ってくる利用者様が限られた時間で「楽しく」「安全に」過ごしていただける方法を日々考えます。施設の「顔」として**関わるすべての皆様に貢献**できるように意識しています。

祭での演奏で地域活性化に貢献！(木村)

— 次に、橋本部門長はエリアを統括する立場です。当該部門を管理する上で、心掛けていることはありますか？

(橋本)私の主業務は「会議」です。その間にも他職員は汗を流して処遇を頑張っているの、私も会議の場で汗を流して頑張ろうと思っています。その為に執行役員相手や部門横断の会議から、部署ごとのミーティングまで、どの会議でも自分の考えは伝えること、また会議ごとで発言の趣旨を変えないこと、会議の中で法人に伝えたと約束したことは必ず伝えることを心がけています。

— ハッピーネットスタイル№3「とにかく議論する」を体現したような回答だと感じます

(橋本)「話し合いから生まれるアイデアは多い」と理事長がしたための通りの発想を行動指針にしています。「**相手が上**

司であっても、自分の意見を伝えること」「反対意見には提案を添えること」このスタイルを全員が共有できれば、個人も法人も、もっと成長できると考えています。

地域ネットワークの中継機関に！(橋本)

— 台風、水害、感染症・・・令和初年度は日本中が、過去稀にみる苦難の1年間でした。今、社会福祉法人に求められる事とは？



(橋本)一法人でできることは限られています。非常時に速やかに対応するためには**地域や他法人との繋がりが不可欠**です。物資不足も繋がりがあれば解決できるかもしれません。一拠点で完結するのではなく、**地域ネットワークを構築**すること、その中継機関になることが社福に求められていると感じます。

— 法人ミッション「地域の人々の役に立つ」にも直結しますね。では購入した和太鼓でどんな地域貢献をしたい？

(木村)現状、和太鼓部は外部での活動実績がなく、内部での演奏にとどまっています。徐々に、**和太鼓ボラさんとの繋がりがりや、職員バンドとのタイアップが実現**し、来期は購入した平胴太鼓を活用して、**近隣施設での演奏や、市内の祭り**で演奏することで、**地域の活性化に貢献**できればと考えています

(橋本)まずは当園の和太鼓部を多くの皆様に知っていただきたいです。その為に今回頂いた平胴太鼓を活用して**地域の介護施設や幼稚園、保育園などに訪問**して多くの方を元気づけたい、笑顔にしたいと思います。その名の通り、多くの方の「しあわせづくり」の一翼を担いたいと思います！

— 今後も地域に役立つ取り組みを発信し続けてください。最後に募金にご協力下さった皆様へメッセージを一言！

(木村)本当にありがとうございました！利用者様も本格的な和太鼓に触れることが出来て、大変喜んでます。今後必ず皆様のお目にかかれる機会を作っていきたいです！